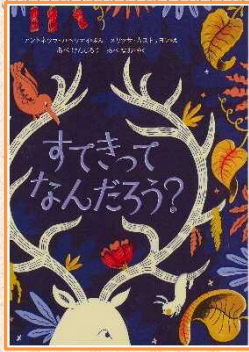


大好き！絵本

初瀬 恵美



『すてきて

なんだろう?』

文:アントネッラ・カペティ

絵:メリッサ・カストリオン

訳:あべ けんじろう

あべ なお

出版社:きじとら出版

年明けに、絵本や写真集など素敵な本が並ぶカフェにいきました。そこで、とてもすてきな絵本に出会いました。この絵本は、東京都板橋区・板橋区教育委員会が主催する「第25回いたばし国際絵本翻訳大賞（イタリア語部門）」最優秀翻訳大賞を受賞した翻訳作品を出版したもので、2019年9月に出版されたばかりでした。

今月は、出会ってすぐにお気に入りになったこの絵本『すてきてなんだろう?』をご紹介しますと思います。

主人公は一匹の「いもむし」。いもむしは、葉っぱの上で楽しく暮らしていました。葉っぱを食べてあたりを散歩してまた戻って暮らす毎日。困ることなんて何もありませんでした。ところがある日、散歩をしていると、つかまっていた小枝ごと人間に持ち上げられてしまいました。しばらく歩いてから、人間がいもむしのことに気が付くと「すてきな いもむしさんね」と言って、地面の上に戻してくれました。

それまで誰にも言われたことのなかった「すてき」という言葉。それが、どんな意味なのか気になって気になって、仕方がなくなりました。もう今までの「のんきないもむし」では、いられなくなってしまいました。それからは、森の生き物たちに「すてき」ってどういう意味なのか聞いてまわりました。でも、みんなが答えてくれる「すてき」は、いもむしが求めている答えと違ってました。「すてき」の意味はわからないけど、それじゃない・・・という感じです。

さて、いもむしは「すてき」の意味がわかったのでしょうか。

最後は「なるほど～！」と思うと同時に、心がほっこりとする結末でした。

そしてストーリーもさることながら、私が心惹かれたのは、お話しと絵が一体化しているような点でした。右の絵をご覧ください。文字が絵に包み込まれるようになっていっているでしょう。絵はダイナミックだけれど主張しすぎず、柔らかさとメルヘンさを持ち合わせていて、色は「赤・黄・青」ベースで整えられていて、読み始めるとすぐに物語の世界へ読み手も引き込んでくれる様なまさに「すてき」な絵本です。

ぜひ、みなさんにも絵本を読んで感じていただきたいと思います。



2月 誕生日おめでとう

